

行政改革大綱実施計画の取組状況について

（第4次熊野町行政改革大綱実施計画【平成23年度分】）

平成24年10月29日 熊野町行政改革推進本部

1 実施状況

本町では、「第4次熊野町行政改革大綱」及び「同実施計画」の計画期間を平成23年度から平成27年度としています。

また、改革の着実な実施を図るため、行政改革推進本部において適切な進行管理を行うとともに、その実施状況を公表することとしています。

このため、実施計画に掲げた76項目について、実施状況を報告します。

【平成23年度の実施状況】

改革の柱	予 定	実 績
住民との信頼関係を強化する	6	6
住民との協働のまちづくりを進める	1	1
自主性・自立性の高い財政運営を行う	16	15
社会の変化に対応できる行政運営を行う	9	10
合 計 76	32	32

2 主な実施状況（概要）

改革の柱	実施状況
住民との信頼関係を強化する	<ul style="list-style-type: none"> ○情報発信の充実 携帯会社の緊急エリアメールへ対応をしました。 ○個人情報の保護 情報公開及び個人情報保護条例の住民啓発を実施し、保存文書の年限・種別を厳守しています。 ○広聴の充実 地域懇談会を14箇所で開催しました。 ○住民の視点に立った接遇やサービス向上 窓口サービスの職員に対する意識調査を実施しました。 健康課を本庁に移転しました。
住民との協働のまちづくりを進める	<ul style="list-style-type: none"> ○地域協働事業の支援 まちづくり協働推進として9団体に助成をしました。

<p>自主性・自立性の高い財政運営を行う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○収納対策の強化 町税等の収納率の向上と平成23年度は5,770千円の滞納等の納付があった。 ○課税客体の拡充・未利用地等の売却 深原地区町有地の造成は、広島県と受委託契約を締結しました。 ○補助金等の整理・合理化 予算編成時に一覧表を作成し、1,173千円の合理化をしました。 ○道路整備の基本方針の策定 第5次総合計画に合わせた都市計画マスタープランの内容修正を実施しました。 ○庁舎等の節電による電気料の削減 使用量は△5.6%になりましたが、料金は3.0%の増となりました。
<p>社会の変化に対応できる行政運営を行う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○効果的・効率的な組織の構築 平成24年度職員総数158人でヒヤリングを実施しました。 ○全庁的な事務処理効率化の推進 22件の職員提案を受けたが、採択されたものはなかった。 ○公会計制度の導入 財務書類の作成をし、公表しました。 ○電子申請システムの推進 申請手続件数41件（前年比115%増）、7手続8様式追加 ○職員数の適正化の推進 第3次定員適正化計画に基づき平成23年度末155人

3 今後の取組みについて

昨今の世界的な金融不安による景気の減退や、本格的な人口減少社会の到来と少子高齢化の一層の進行による生産年齢人口の減少などは、今後の熊野町の行財政運営にも多大な支障を及ぼすものと危惧されます。

また、本町では、今後、公共施設の老朽化に伴う更新費・維持費の増加や社会保障関係費をはじめとした経常経費の増加傾向が続くとみられる一方で、地方交付税や町税などの経常一般財源の増収が見込めず、現在の財政状況を維持することがより一層困難になると予測されます。

このため、引き続き不断の決意を以って、各種事務事業の効率化や一元化、優先順位の見直しなどの行政改革に取り組みます。